



平成28年2月12日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成28年3月期第3四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成28年3月期第3四半期(平成27年4月1日~平成27年12月31日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算:個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、4兆7,343億円、前年同期から11.5%の減少。
- 保有契約高は、60兆7,336億円、前年度末から0.6%の増加。
- 解約失効高は、2兆7,936億円、前年同期から0.7%の減少。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、1兆5,008億円、前年同期から18.2%の減少。
うち保険料等収入は、1兆1,660億円、前年同期から21.8%の減少。
- 経常利益は、1,348億円、前年同期から0.8%の減少。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、620億円、前年同期から18.0%の減少。

通期業績予想(T&Dホールディングス連結)

- 通期業績予想の修正はありません。

平成28年3月期株主配当予想

- 1株当たり年間配当金は、前回予想の25円から5円増配し、30円に修正いたします。

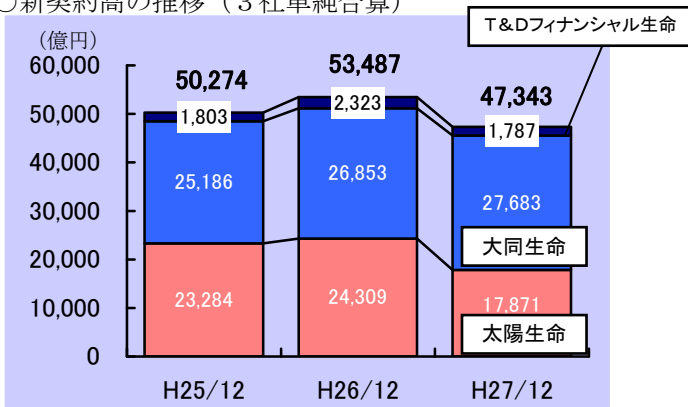
以上

【お問合せ先】

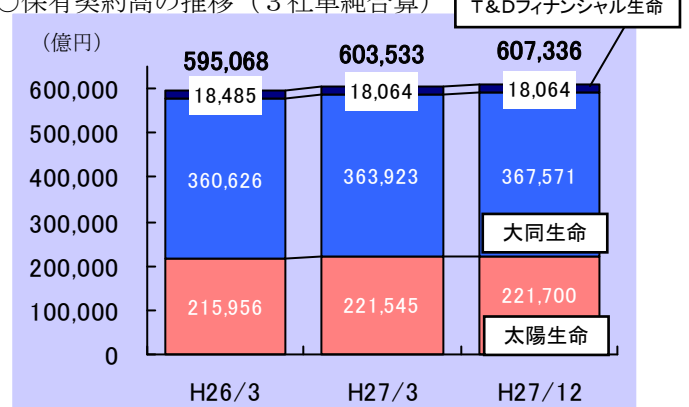
株式会社T&Dホールディングス	広報部	川俣・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	田中	TEL 03-6745-6808

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
新契約高	47,343	6,144 減 (11.5%減)	17,871	6,438 減 (26.5%減)	27,683	830 増 (3.1%増)	1,787	536 減 (23.1%減)
新契約年換算保険料	1,006	248 減 (19.8%減)	280	164 減 (37.0%減)	611	4 減 (0.7%減)	114	79 減 (41.1%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	194	33 増 (21.0%増)	90	17 増 (24.0%増)	103	16 増 (18.4%増)	0	0 増 (478.3%増)

(注) 新契約高には転換による純増加分を含んでおります。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
保有契約高	607,336	3,802 増 (0.6%増)	221,700	155 増 (0.1%増)	367,571	3,647 増 (1.0%増)	18,064	0 増 (0.0%増)
保有契約年換算保険料	14,628	164 増 (1.1%増)	6,455	58 減 (0.9%減)	7,005	222 増 (3.3%増)	1,167	0 増 (0.1%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,777	78 増 (4.6%増)	1,001	18 増 (1.8%増)	747	62 増 (9.1%増)	28	2 減 (6.9%減)

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
解約失効率			4.26%	0.21ポイント低下	4.95%	0.04ポイント上昇	2.62%	1.72ポイント低下
解約失効高	27,936	207 減 (0.7%減)	9,443	202 減 (2.1%減)	18,019	324 増 (1.8%増)	472	329 減 (41.1%減)

(注) 解約失効率は、年換算しておりません。

■ 3社単純合算

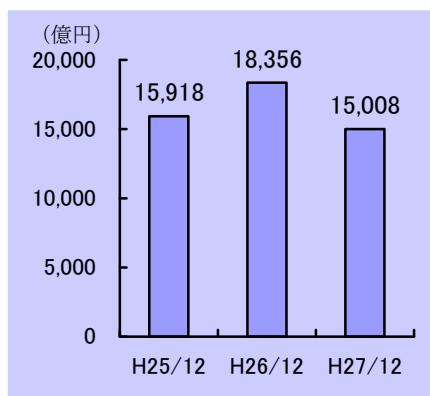
- ・新契約高は、4兆7,343億円、前年同期から11.5%の減少。
これは主に、金利低下により一時払商品を販売抑制・休止したことによる。
なお、第3分野新契約年換算保険料は194億円、前年同期から21.0%の増加。
- ・保有契約高は、60兆7,336億円、前年度末から0.6%の増加。
なお、大同生命の「Jタイプ※」「Tタイプ※」および「介護リリーフ※」を加算した新契約高は5兆3,652億円、前年同期から8.2%の減少。同基準での保有契約高は63兆316億円、前年度末から1.5%の増加。
※定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」および「介護リリーフ（無配当終身介護保障保険）」は、普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額、就業障がい保険金額および介護保険金額は上表の新契約高・保有契約高・解約失効高には計上していません。

■ 各社の状況

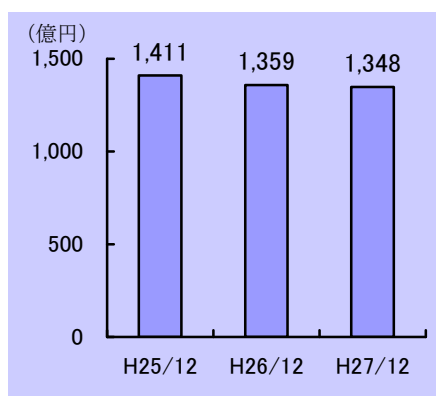
- ・太陽生命の新契約高は、1兆7,871億円、前年同期から26.5%の減少。
なお、分割払の医療・介護系商品の販売増加により、第3分野新契約年換算保険料は前年同期から24.0%の増加、同保有契約年換算保険料は1,001億円、前年度末から1.8%の増加。
また、保有契約高は、22兆1,700億円、前年度末から0.1%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、2兆7,683億円、前年同期から3.1%の増加。
これは主に、主力商品の個人定期保険の販売増加による。
また、保有契約高は、36兆7,571億円、前年度末から1.0%の増加。
なお、「Jタイプ」「Tタイプ」および「介護リリーフ」を加算した新契約高は、3兆3,992億円、前年同期から6.8%の増加。同基準での保有契約高は39兆551億円、前年度末から2.4%の増加。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、1,787億円、前年同期から23.1%の減少。
また、保有契約高は、1兆8,064億円、前年度末並み。

[損益関係]

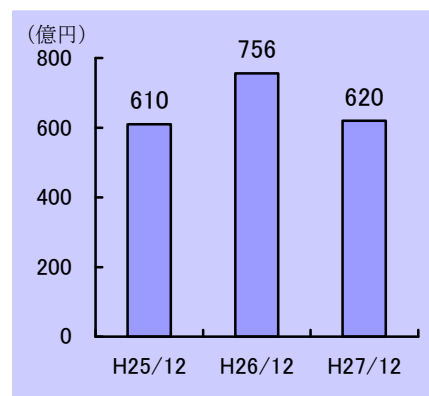
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○親会社株主に帰属する四半期純利益



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
経常収益	15,008	3,348 減 (18.2%減)	6,463	1,501 減 (18.9%減)	6,983	608 減 (8.0%減)	1,690	1,169 減 (40.9%減)
うち保険料等収入	11,660	3,249 減 (21.8%減)	4,768	1,837 減 (27.8%減)	5,571	510 減 (8.4%減)	1,298	906 減 (41.1%減)
うち資産運用収益	2,771	122 減 (4.2%減)	1,487	223 増 (17.7%増)	1,201	118 減 (9.0%減)	97	270 減 (73.4%減)
うち利息及び配当金等収入	2,190	26 増 (1.2%増)	1,101	35 減 (3.1%減)	1,045	62 増 (6.3%増)	54	0 増 (1.4%増)
うちその他経常収益	576	24 増 (4.4%増)	207	112 増 (118.3%増)	210	20 増 (10.9%増)	294	7 増 (2.5%増)
経常費用	13,659	3,337 減 (19.6%減)	5,850	1,662 減 (22.1%減)	6,259	588 減 (8.6%減)	1,684	1,025 減 (37.8%減)
うち保険金等支払金	10,078	597 減 (5.6%減)	4,789	418 増 (9.6%増)	3,749	22 増 (0.6%増)	1,529	1,040 減 (40.5%減)
うち責任準備金等繰入額	1,067	2,698 減 (71.7%減)	0	2,060 減 (100.0%減)	1,379	523 減 (27.5%減)	0	0 減 (24.5%減)
うち資産運用費用	520	28 減 (5.2%減)	260	17 増 (7.3%増)	221	118 減 (34.8%減)	44	28 増 (184.4%増)
経常利益	1,348	10 減 (0.8%減)	613	160 増 (35.4%増)	724	20 減 (2.7%減)	5	144 減 (96.1%減)
特別利益	1	0 減 (41.1%減)	0	1 減 (97.8%減)	132	132 増 (—)	—	— (—)
特別損失	221	173 増 (357.6%増)	148	119 増 (409.0%増)	70	52 増 (296.3%増)	3	2 増 (279.9%増)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	245	2 増 (1.0%増)	139	2 増 (1.9%増)	106	0 減 (0.2%減)	△0	0 減 (—)
税引前四半期純利益	882	186 減 (17.5%減)	325	36 増 (12.7%増)	679	59 増 (9.6%増)	2	147 減 (98.6%減)
法人税等合計	261	50 減 (16.3%減)	94	15 増 (20.2%増)	199	17 増 (9.6%増)	0	44 減 (98.2%減)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	620	136 減 (18.0%減)	231	20 増 (9.9%増)	480	41 増 (9.5%増)	1	102 減 (98.8%減)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	2,238	174 増 (8.5%増)	1,226	205 増 (20.1%増)	974	16 増 (1.7%増)	46	47 減 (50.6%減)
--------------------	-------	------------------	-------	-------------------	-----	-----------------	----	------------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆1,638億円(前年同期比21.9%減)です。
 3. 大同生命の特別利益には、太陽生命への不動産売却益131億円が含まれています。連結上は内部取引として消去されるため、損益に与える影響はありません。
 4. 特別損失(221億円)のうち、153億円は価格変動準備金への繰入(太陽生命：133億円、大同生命：18億円、TDF生命：1億円)です。
 5. 親会社株主に帰属する四半期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、四半期純利益を記載しております。
 6. 資産運用関係収支(一般勘定)は、一般勘定に関して、資産運用収益から資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆5,008億円、前年同期から18.2%の減少。
これは主に、保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1兆1,660億円、前年同期から21.8%の減少。
これは主に、金利低下により一時払商品を販売抑制・休止したことによる。
- ・ **経常利益**は、1,348億円、前年同期から0.8%の減少。
- ・ **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、620億円、前年同期から18.0%の減少。
これは主に、T & Dフィナンシャル生命において保有契約高減少等に伴い変額個人年金保険の収益が減少したことによる。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、6,463億円、前年同期から18.9%の減少。
これは主に、金利低下による銀行窓販の一時払商品販売抑制に伴い保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、4,768億円、前年同期から27.8%の減少。
- ・ **経常利益**は、613億円、前年同期から35.4%の増加。
これは主に、キャピタル損益が増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、231億円、前年同期から9.9%の増加。
これは主に、経常利益が増加したことによる。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、6,983億円、前年同期から8.0%の減少。
これは主に、主力商品の個人定期保険およびJタイプ・Tタイプの保険料が増加したものの、一時払終身保険の保険料が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、5,571億円、前年同期から8.4%の減少。
- ・ **経常利益**は、724億円、前年同期から2.7%の減少。
これは主に、新契約高の増加に伴う初期負担の増加による。
- ・ **四半期純利益**は、480億円、前年同期から9.5%の増加。
これは主に、特別利益が増加したことによる。

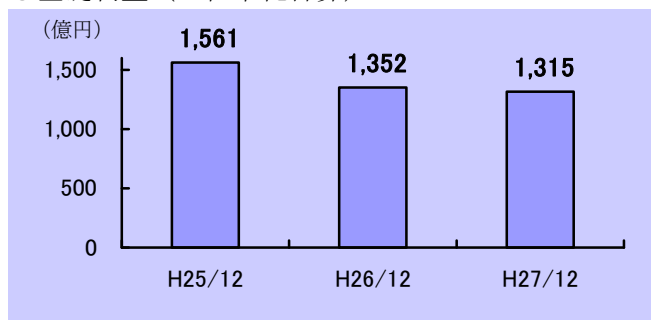
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、1,690億円、前年同期から40.9%の減少。
これは主に、金利低下による一時払終身保険の一部販売休止に伴い保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1,298億円、前年同期から41.1%の減少。
- ・ **経常利益**は、5億円、前年同期から96.1%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、1億円、前年同期から98.8%の減少。
これは主に、保有契約高減少等に伴い変額個人年金保険の収益が減少したことによる。

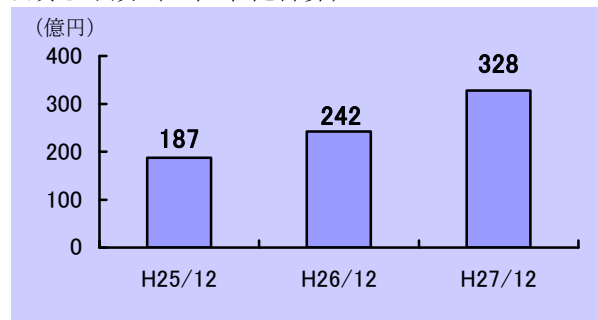
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや額>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年同期比	当第3四半期末	前年同期比	当第3四半期末	前年同期比	当第3四半期末	前年同期比
基礎利益	1,315	37減 (2.7%減)	446	78減 (14.9%減)	881	79増 (9.9%増)	△12	38減 (-)
順ざや額 (△逆ざや額)	328	85増	92	10減	259	96増	△23	0減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,315億円、前年同期から37億円の減少。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、446億円、前年同期から78億円の減少。
これは主に、一時払商品の保険料収入および利息及び配当金等収入の減少による。
順ざや額は、92億円、前年同期から10億円の減少。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、881億円、前年同期から79億円の増加。
順ざや額は、259億円、前年同期から96億円の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、△12億円、前年同期から38億円の減少。
逆ざや額は、23億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率			875.8%	118.1pt 低下	1,336.5%	27.2pt 低下	1,336.7%	64.8pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,128.9%	91.8pt 低下	882.7%	118.4pt 低下	1,344.0%	27.5pt 低下		

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,128.9%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、875.8%、前年度末から118.1ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額が減少したことによる。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,336.5%、前年度末から27.2ポイント低下。
これは主に、株式の積増しに伴い資産運用リスクが増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,336.7%、前年度末から64.8ポイント上昇。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
実質純資産	26,263	191 減	11,189	444 減	13,318	433 増	1,638	75 増

■ T&Dホールディングス連結

- ・連結実質純資産は2兆6,263億円、前年度末から191億円の減少。

■ 各社の状況

- ・太陽生命の実質純資産は、1兆1,189億円、前年度末から444億円の減少。
これは主に、その他有価証券の評価差額が減少したことによる。
- ・大同生命の実質純資産は、1兆3,318億円、前年度末から433億円の増加。
これは主に、四半期純利益の積上げおよび負債内部留保の増加による。
- ・T&Dフィナンシャル生命の実質純資産は、1,638億円、前年度末から75億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益が増加したことによる。

<有価証券等の差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
有価証券の差損益	12,845	584 減	6,890	768 減	5,243	50 増	710	133 増
公社債	6,373	483 増	3,244	165 増	2,620	262 増	508	55 増
株式	3,997	17 増	2,126	185 減	1,871	203 増	—	—
外国証券	1,823	1,118 減	1,352	711 減	472	405 減	△1	1 減
その他の証券	299	38 減	99	33 減	199	5 減	—	—
金銭の信託	203	78 増	—	—	—	—	203	78 増
買入金銭債権	148	7 減	68	2 減	79	5 減	—	—
土地等の差損益	294	78 減	76	0 増	218	79 減	—	—

(注) 1. 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) > [概算値]

四半期の数値は、一部簡易な計算前提等を用いて計算し、第三者の検証を受けていない概算値となります。

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
MCEV	約 23,496	約 515 増	約 8,586	約 99 減	約 13,964	約 897 増	約 978	約 19 増

(注) 1. Group MCEV は「生命保険事業のMCEV(約 2兆 3,229 億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(約 266 億円)」の合計額です。

2. Group MCEV の増減額と 3 社合算の増減額の差異は、主に T&Dホールディングスが当期に実施した自己株式の取得(約 300 億円)によるものです。

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
新契約価値	約 786	約 124 増	約 257	約 46 増	約 488	約 64 増	約 40	約 13 増

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV** は、約 2兆 3,496 億円、前年度末から約 515 億円の増加。
新契約価値 は、約 786 億円、前年同期から約 124 億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV** は、約 8,586 億円、前年度末から約 99 億円の減少。
新契約価値 は、約 257 億円、前年同期から約 46 億円の増加。
- ・ **大同生命のMCEV** は、約 1兆 3,964 億円、前年度末から約 897 億円の増加。
新契約価値 は、約 488 億円、前年同期から約 64 億円の増加。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV** は、約 978 億円、前年度末から約 19 億円の増加。
新契約価値 は、約 40 億円、前年同期から約 13 億円の増加。

[平成28年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成28年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成27年5月14日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成27年3月期実績	平成28年3月期予想
経常収益	24,121	18,700 程度
経常利益	1,889	1,670 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	942	780 程度

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成28年3月期の通期業績予想は次のとおりです。
(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,500 程度	8,900 程度	2,300 程度
経常利益	790 程度	810 程度	70 程度
当期純利益	280 程度	550 程度	40 程度

(注) 1.平成27年8月10日公表の通期業績予想から変更ありません。
2.連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

[平成28年3月期株主配当予想]

1株当たり年間配当金は、前回予想の25円から5円増配し、30円に修正いたします。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成28年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,530 程度	570 程度	970 程度	△20 程度
保険料等収入	15,900 程度	6,600 程度	7,300 程度	2,000 程度
順ざや額(△逆ざや額)	310 程度	110 程度	230 程度	△30 程度
新契約高	61,100 程度	23,700 程度	34,200 程度	3,300 程度
保有契約高	607,000 程度	222,200 程度	365,800 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.7%程度	6.7%程度	4.0%程度

- (注) 1. 平成27年8月10日公表の通期見通しから変更ありません。
 2. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
 また、新契約高には転換による純増加高を含みます。
 3. 大同生命に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。
 新契約高 : 4兆1,000億円程度
 保有契約高 : 38兆8,900億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上